

令和4年度 黒羽学園グランドデザイン

教育目標

5月10日版

「黒羽の人と地を育む教育の実現」

基本方針

黒羽の人や文化を生かし、小中9年間を通し、児童生徒が自己理解を深め、他者に感謝する心を育み、自ら学び続け、黒羽の未来を創造する教育活動に取り組む。



黒羽中学校

目指す教師像

確かな学力を身に付けさせるとともに、黒羽の人と地を育むことができるよう、児童生徒と共に地域を理解し、自ら学び続け、他者と協働できる教師

【目指す子ども像】

自ら学び続ける児童生徒
自らに向き合い、自己理解を深める児童生徒
他に感謝し、協働できる児童生徒
黒羽に愛着がもてる児童生徒



玉穂荷神社



川西小学校



雲巖寺



須賀川小学校



黒羽小学校



両郷磯上太々神楽



両郷中央小学校



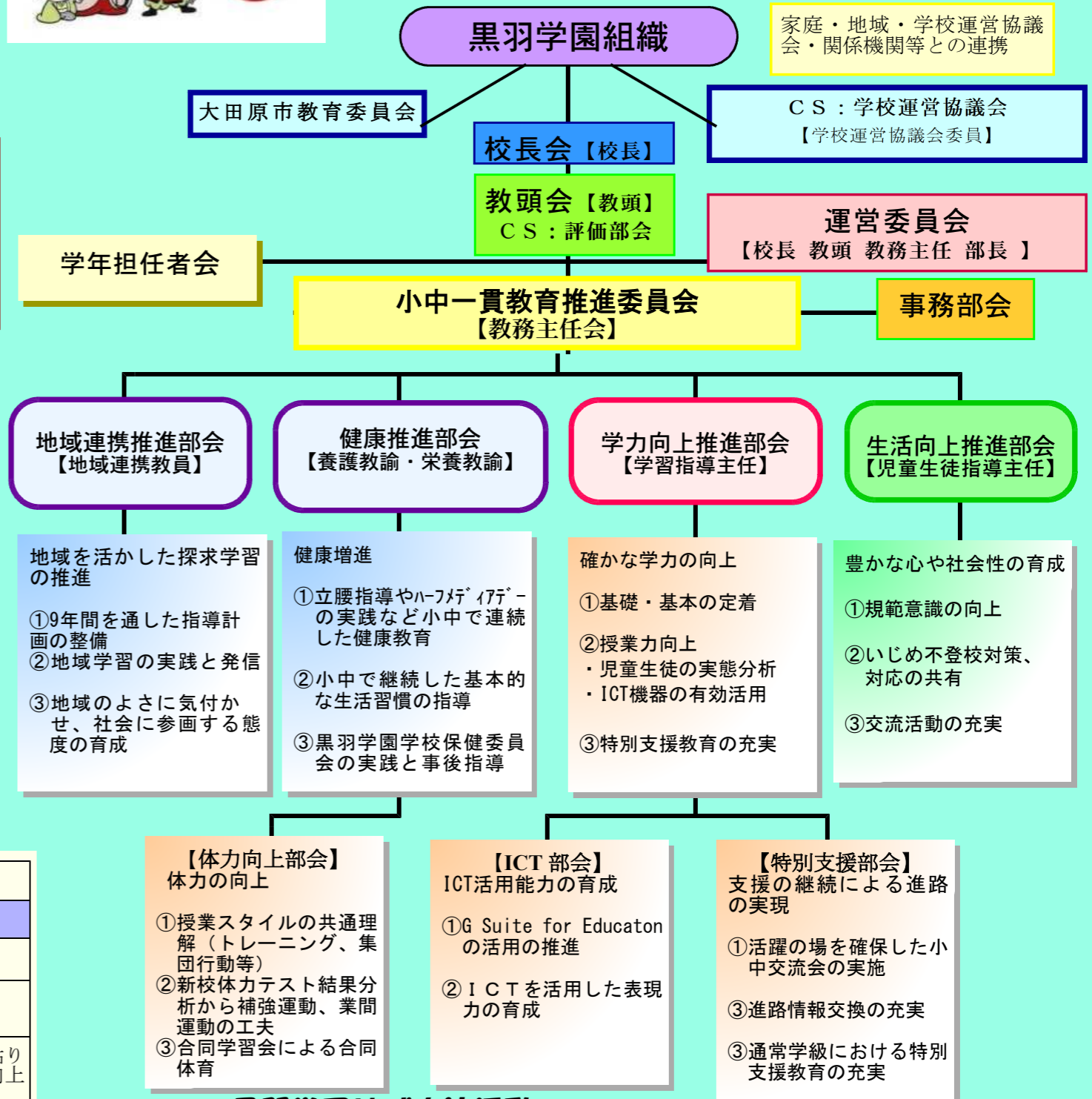
作新館 格天井

9年間を通じた系統的な教育活動の推進

区分	I期 前期 1～4年生	II期 中期 5～7年生	III期 後期 8・9年生
	基礎期	活用・定着期	発展・充実期
	基礎基本の習得 自己理解の促進	小学校から中学校への円滑な移行 自己有用感の高揚	社会で自立して生きる基礎作り 主体性・社会性の育成
自ら学び続ける児童生徒	・基礎・基本の学力を定着させ、進んで学習に取り組むことができる。	・学ぶ楽しさを知り、自らの学びを調整しながら、粘り強く課題解決に取り組むことができる。	・自らの学びを調整しながら、粘り強く思考力、判断力、表現力の向上に取り組むことができる。
自らに向き合い、自己理解が深める児童生徒	・自分の特徴に気付き、長所を伸ばすことができる。	・自分の特徴を知り、短所を改め、長所を伸ばすことができる。	・自己を見つめ、自己の向上を図ると共に、個性を伸ばして、充実した生き方を追求できる。
他に感謝し、協働できる児童生徒	・家族や身近な人々に感謝することができる。 ・友達の気持ちに気付き、仲良くできる。	・家族や地域の人々に感謝することができる。 ・自分の思いを伝え合いながら、他者と協働することができる。	・家族や地域の人々に支えられていることに感謝し、期待に応えることができる。 ・互いの意見を尊重し協働しながら、進んで社会に貢献できる。
黒羽に愛着がもてる児童生徒	・地域によさに気付き、友達に伝えることができる。	・地域によさを保護者や小学校区の人々に発信できる。	・地域の今後の在り方について考え、具体策を社会に提案し、よりよい地域づくりに貢献できる。



大田原市小中一貫教育の短期目標
義務教育9年間の系統性のある指導で、
一人一人の学力を最大限伸ばし、進路実現を図る。
【希望ある15の春】



黒羽学園地域交流活動



クリーン活動【黒羽地区】



地域探訪【川西地区】



茶摘み体験【須賀川地区】



農民道全一太鼓【両郷地区】